

石川県珠洲市 & 早稲田大学 地域連携ワークショップ^o 2024【特別編】

能登半島の先端にある珠洲市は、2024年元旦に発生した「令和6年能登半島地震」により、壊滅的な被害を受けました。家屋の約3割が全壊し、水道が使えなくなるなどライフラインの復旧に時間を要しており、避難所生活が長期化しています。こうした状況は、家庭や仕事にも影響を与え市外へ避難・転出する人も少なくありません。そんな中で、珠洲市では発災以降、国や石川県をはじめ、他の自治体やボランティア団体など、多くの方々からの支援を受けて、復旧を進めています。

早稲田大学では、2020年度から同市との地域連携ワークショップを継続しており、今年度も皆さんのために珠洲市よりテーマをいただきましたので、地域連携ワークショップ【特別編】として実施します。従来の、課題解決型の地域連携ワークショップとは異なりますが、珠洲市のために何かしたいと考えている方、災害復興支援ボランティアとはまた異なる形で同市に貢献したいと思う方のご参加をお待ちしています。

なお、珠洲市等への災害復興支援ボランティア派遣については平山郁夫記念ボランティアセンターで継続実施中であり、ワークショップ前後に参加いただくことも可能です。

テーマ

被災地支援の現場から見える、珠洲の課題と可能性とは？

特別編では、今後の災害対策に活かすため、珠洲市外から支援に来られている方々へのヒアリングや資料収集を通じて、これまでの珠洲市での活動記録をまとめるとともに、被災地支援の現場から見える同市の課題と今後の可能性について、市長をはじめ、自治体関係者、支援団体等に向けて発表していただきます。ワークショップ期間中にまとめた活動記録は発表用にとどまらず、市民に向けた広報としても活用していただく可能性があります。

珠洲市の魅力

あなたは「珠洲」が読めますか？石川県の一番北、能登半島の最先端にある、人口約12,000人の市です。もともと珠洲市は、世界農業遺産に認定された豊かな里山里海が広がり、地域に根ざした伝統的な産業・文化や、人々が培ってきた暮らしの知恵や技が息づいてきました。また、奥能登国際芸術祭やSDGsなど、先進的な取り組みにも積極的に挑戦してきた、なつかしくて新しいまちです。



募集概要

募集期間	2024年5月31日(金)～6月16日(日) 23:59 [期間厳守]
募集対象	早稲田大学に所属する正規学部生・大学院生(修士課程)(学部、専攻、学年問わず)
応募条件	原則として事前説明会(オンライン)への出席 および 全ての公式日程(次頁)への参加が可能なこと
募集人数	2チーム(10名程度)
応募方法	<p>事前説明会(オンライン)について【応募の際には必須参加】</p> <p>日程: 6/5(水)、6/11(火)、6/13(木) 12:30～12:55※全日程共通</p> <p>※申し込み方法などの詳細は、Waseda メールもしくは Web ページ上でのご案内に記載しています。</p> <p>※すべての回で内容は同じです。上記3日程のうち、いずれかの回にご参加ください。</p> <p>※参加任意となりますが、事前相談会(12:55～13:10)も上記の日程で実施します。</p> <p>事前説明会参加後、以下の手順か右のQRコードのリンク先から応募してください。</p> <ol style="list-style-type: none">① MyWASEDAの「お知らせ一覧」から「地域連携ワークショップ2024夏編」を検索② 「地域連携ワークショップ2024夏編」から「申請」をクリック <p>必要事項(志望理由、ワークショップ期間中のスケジュールなど)を入力して申請</p> 
選考方法	<p>書類選考: 結果通知は2024年6月27日(木)までにWasedaメールにて通知します。</p> <p>※面接選考(オンライン)を実施することがあります。その際は対象者に別途ご案内します。</p>
注意事項	<ol style="list-style-type: none">① 当ワークショップは一般授業とは扱いが異なります。成績評価・単位認定等はありません。② フィールドワーク(現地調査)の実施を含む対面・オンラインのハイブリッド形式で実施します。活動地は早稲田キャンパス、石川県珠洲市、その他ヒアリング先(都内およびその周辺)となります。③ 【重要】公式日程以外にも、自主的にミーティングやグループワークを実施する機会が多く、期間中は当ワークショップの活動が中心となるよう、スケジュール管理はくれぐれも注意してください。④ オンライン実施の場合、「公共の場所では参加しない」「ヘッドセットなどを装着する」など、第三者に実習内容を知られることがないように措置を講じてください。⑤ 現地調査自己費用負担: 往復交通費(自宅⇔現地集合場所)・宿泊費・食費等 <交通費目安> 往路: 羽田空港～のと里山空港～珠洲市内 12,300円前後(飛行機/早割、のりあいタクシー) 復路: 珠洲市内～金沢駅～東京駅 17,310円(新幹線/指定席、高速バス) <宿泊費> 珠洲市内の施設利用予定 2,000～7,000円/泊 ※但し、後日珠洲市より活動支援金として10,000円、また大学より地域連携ワークショップ活動助成金があり、最終的な往復交通費、宿泊費の自己負担額は10,000円程度になる見込みです。⑥ 主要なインフラ(道路、上下水道など)が損壊し、復旧作業中の地域での活動になります。地域や宿泊先の状況によっては、寝袋や帽子、軍手、運動靴など準備・持参いただく場合があります。また、地震等、災害発生時には現地での活動内容が中止となる場合があることをあらかじめご了承ください。⑦ 【重要】当ワークショップに応募する場合、同時期に実施される企業連携ワークショップへの応募はできません。事前に各ワークショップの特色などをご確認の上、応募してください。⑧ 当ワークショップは、従来の地域連携ワークショップ2024夏編と合わせて複数の地域(第2希望まで)に応募することができますが、最終的に参加できるのは1地域のみです。当地域を第1希望として申請し、選考を通過した場合はその時点で第2希望の地域のワークショップには参加できなくなります。⑨ 早稲田大学の学生補償制度(損害補償・賠償責任補償)に加入いただきます。⑩ ワークショップ実施日と重複する集中科目等を欠席した場合、公欠扱いとはなりません。⑪ グローバルエデュケーションセンター全学副専攻「地域連携・地域貢献」の対象プログラムです。⑫ ワークショップでは連携先、大学がInstagram等公式SNSを含む広報活動の目的で写真・映像を撮影します。掲載の際には個人特定されないよう十分注意いたしますが、あらかじめご了承ください。⑬ 選考結果に関する問い合わせにはお答えいたしかねます。あらかじめご了承ください。 <p>※新型コロナウイルス等の状況によって、プログラム内容等に変更が生じる場合があります</p>
問合せ先	教務部教育連携課 (rbsso@list.waseda.jp) ※問い合わせの際には、件名のほか所属学部/研究科、学年、氏名を必ずメール本文に含めてください。

ワークショップスケジュール（公式日程）

	予定	日程	内容
①	オリエンテーション @早稲田大学	2024年 7/4（木） 17:00～19:00	<ul style="list-style-type: none"> 参加者（学生／職員／自治体担当者）顔合わせ 自治体担当者（@オンライン）からの説明 自治体の課題およびテーマ設定に至った背景の説明 今後のスケジュール確認、事前調査の進め方などの説明 <p>※授業等により欠席／遅刻／早退となる場合は応募フォームにてその旨お知らせください。</p>
②	勉強会 @早稲田大学	7/16（火） 17:00～19:00	<ul style="list-style-type: none"> 被災地での活動にあたってのレクチャー 講師：WAVOC 佐々木 俊介 参加学生同士の親睦を深める フィールドワーク前の注意事項確認 <p>※授業等により欠席／遅刻／早退となる場合は応募フォームにてその旨お知らせください。</p>
③	事前準備・ 事前調査	オリエンテーション ～8/2（金）	<ul style="list-style-type: none"> 珠洲市やテーマに対する調査／情報収集を行う ヒアリングに関する事項（希望先、質問内容など）を検討し、7/16（火）9:00までに自治体へ提出 必要に応じ、大学キャンパスにてグループワーク
④	現地調査前 ヒアリング （@Zoom/対面）	7/18（木）～ 8/2（金）	<ul style="list-style-type: none"> 現地調査に向けて、都内およびその周辺に拠点を置く団体等へのヒアリングを行う <p>※ヒアリング先のご都合に応じて実施時間は流動的となるため、左記の日程はスケジュールを空けておくようにしてください。</p>
⑤	フィールドワーク @珠洲市	8/5（月）～ 8/8（木） 【3泊4日】	<ul style="list-style-type: none"> 市内めぐり（現地の状況を確認） 市長をはじめ、地域・テーマの関係者の方々、市内で活動する支援団体等へのヒアリングを実施 （泉谷市長懇談：8/5（月）13:30～15:00）
⑥	対面グループワーク @早稲田大学	8/22（木） 10:00～17:00	<ul style="list-style-type: none"> 中間報告会前にグループワーク <p>※時間帯は参加学生の都合を確認し決定</p>
⑦	中間報告会 @早稲田大学	9/2（月） 10:00～12:00	<ul style="list-style-type: none"> 発表内容の報告 自治体担当者（@オンライン）、大学職員が参加予定 <p>※報告会後はグループワーク用に会場開放予定</p>
⑧	対面グループワーク @早稲田大学	9/4（水） 10:00～17:00	<ul style="list-style-type: none"> 中間報告会での指摘をふまえてグループワーク <p>※時間帯は参加学生の都合を確認し決定</p>
⑨	最終報告会準備・ 追加調査期間	中間報告会 ～9/17（火）	<ul style="list-style-type: none"> 中間でのフィードバック等をふまえたブラッシュアップ 提案の再検証（必要に応じて追加のヒアリングを実施）
⑩	最終報告会 @早稲田大学	9/18（水） 9:30～11:30	<ul style="list-style-type: none"> 市長など自治体関係者や支援団体の方々（@オンライン）に向けて発表（約2時間） <p>※最終報告会終了後、学生と大学職員との振り返り会（1時間程度）を実施するため、解散時刻は12:30頃となります。</p> <p>※議会予定によって変更する可能性があります。</p>

※上記以外の日程は必要に応じて参加学生同士で相談し、自主的に集まる日程やオンラインでの会議等のスケジュールを決め、ワークショップを進めていきます（学生同士の話し合いに大学職員や自治体関係者が参加することもあります）。

【特別編】実施の流れ

- **オリエンテーション：**
自治体の方から課題（テーマ）やその背景を聞く
↓
- **事前準備・事前調査：**
個人、チーム単位で地域やテーマについて調査。
どのような方にヒアリングしたいのか、どのような質問をしたいのかリスト化
都内及び周辺に拠点を置く支援団体等へのヒアリング
↓
- **現地調査・ヒアリング：**
自治体関係者、支援団体等へのヒアリング（対面＋オンライン）
↓
- **最終発表資料作成・追加調査：**
現地調査やヒアリングなどを踏まえ、最終発表資料をまとめる
必要に応じて追加のヒアリング等を実施
↓
- **最終報告会：**
自治体関係者、支援団体等を前にプレゼンテーション

学生同士で時間を決め、対面での
打合せや Zoom 等で議論を進める